

中級AI講座
画風開発
006

西町春彦



目次

《前書き》	1
《実践：画風の指定》	2
《実践：画像生成》	3
「後書き」	10

《前書き》

画像生成AIのプロンプトの書き方を解説します

プロンプトは（情景の描写）と（画風の指定）の二つの要素から成り立つと考えて下さい

たとえば風景画を生成するならば、（情景の描写）は次のようなものです

（海に面した丘の斜面に一軒の家が建っている。丘の上には青空が広がっている。）

そして（画風の指定）は次のようなものが考えられます

（油彩画、印象主義）

2要素に分離する理由は、プロンプトを再利用する上で便利だからです・・・たとえば（油彩画、印象主義）を（写真、スナップ撮影）に変えるだけで、異なった表現に変える事が出来ます・・・従って分離することを推奨しますが・・・再利用とかしないのならば、複雑に入り組んだプロンプトを書くのは自由です

この講座においては、プロンプトは情景の描写と画風の指定の2要素で記述することを基本とします・・・（分離するのは返って難しい場合もあることは十分承知しています）

《実践：画風の指定》

今回は、ポップアート風のイラスト作品の画像を生成してみます・・・派手な色遣いで、平面的に・・・以上のことを考慮に入れて、次のような画風を考えて見ました

ポップアート作品が次のような情景を描いている：「＊＊＊」（ミニマリズムのスタイル：鮮やかな原色と平面的な構図で視覚的なインパクトを強調し、陰影を最小限に抑えてすっきりとしたグラフィックな印象を与える。）

情景は、上記の「＊＊＊」の部分に記述します

情景の一例として、次のようなものを考えて見ました

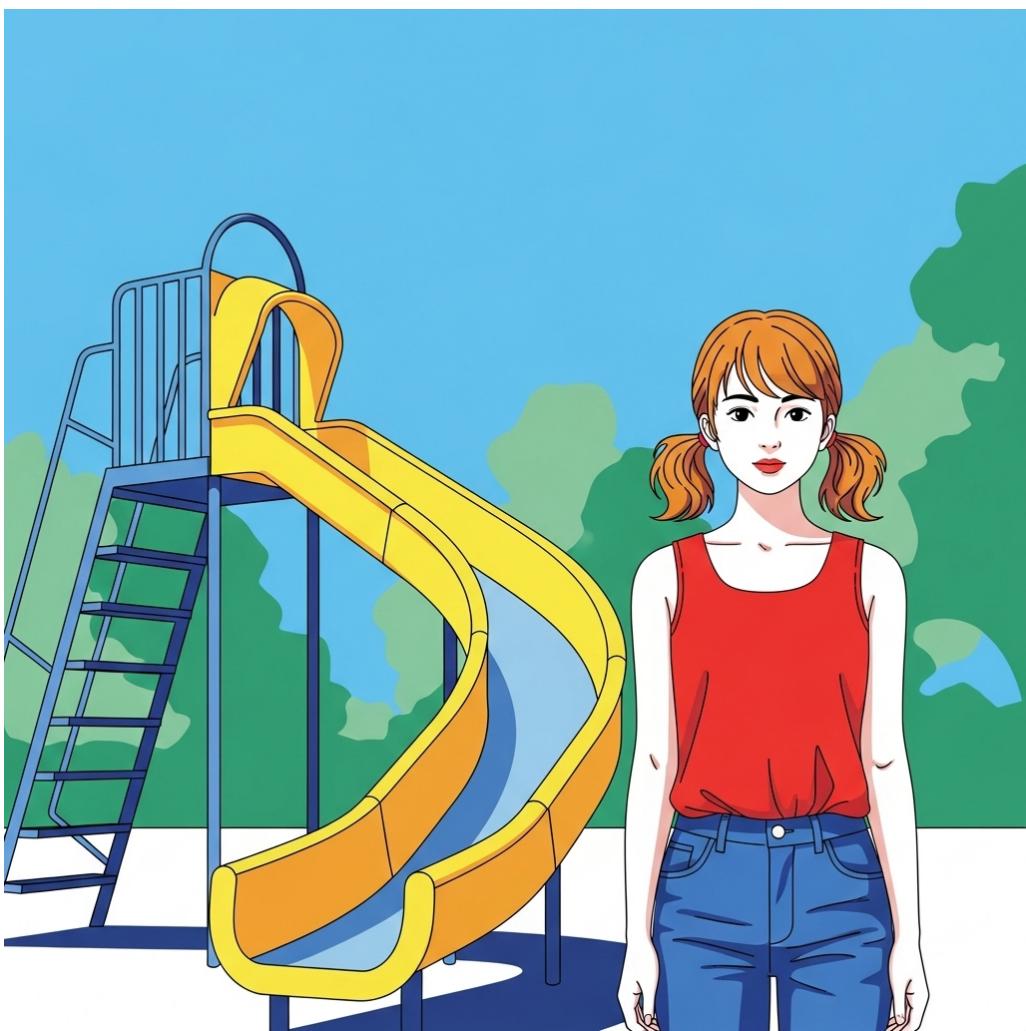
「タンクトップにジーンズをはいた日本の少女が、短く波打つ髪をツインテールに結び、澄みきった夏空の下、公園のすべり台の前に立っている。」

この情景の描写と画風の指定を合体させて、次のプロンプトを作りました

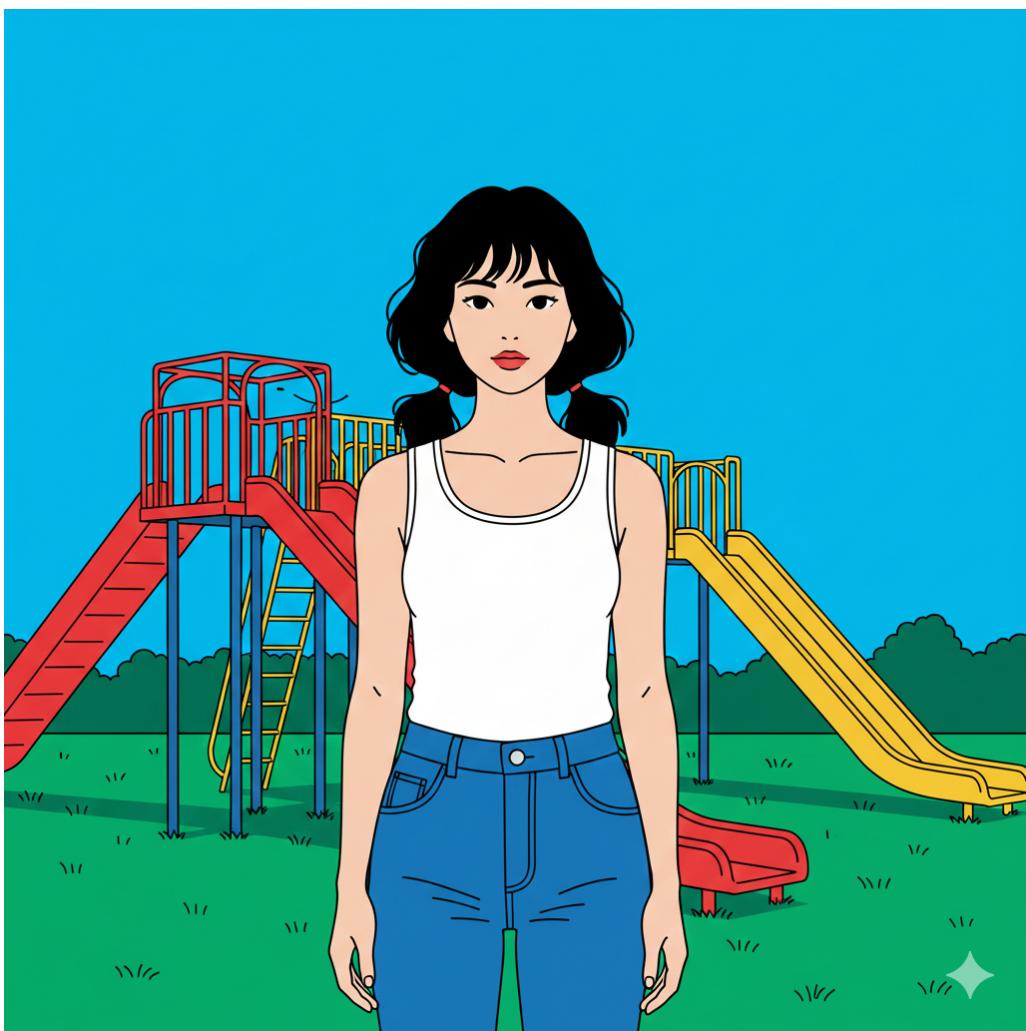
ポップアート作品が次のような情景を描いている：「タンクトップにジーンズをはいた日本の少女が、短く波打つ髪をツインテールに結び、澄みきった夏空の下、公園のすべり台の前に立っている。」（ミニマリズムのスタイル：鮮やかな原色と平面的な構図で視覚的なインパクトを強調し、陰影を最小限に抑えてすっきりとしたグラフィックな印象を与える。）

《実践：画像生成》

前述のプロンプトを、ImageFX、Gemini、Whisk、Image Creator に入力して画像を生成しました・・・総じて、今回のプロンプトは上手く機能したと思う・・・MAI-Image-1 は若干、写実寄りだけれども・・・(次に掲載の画像を参照)



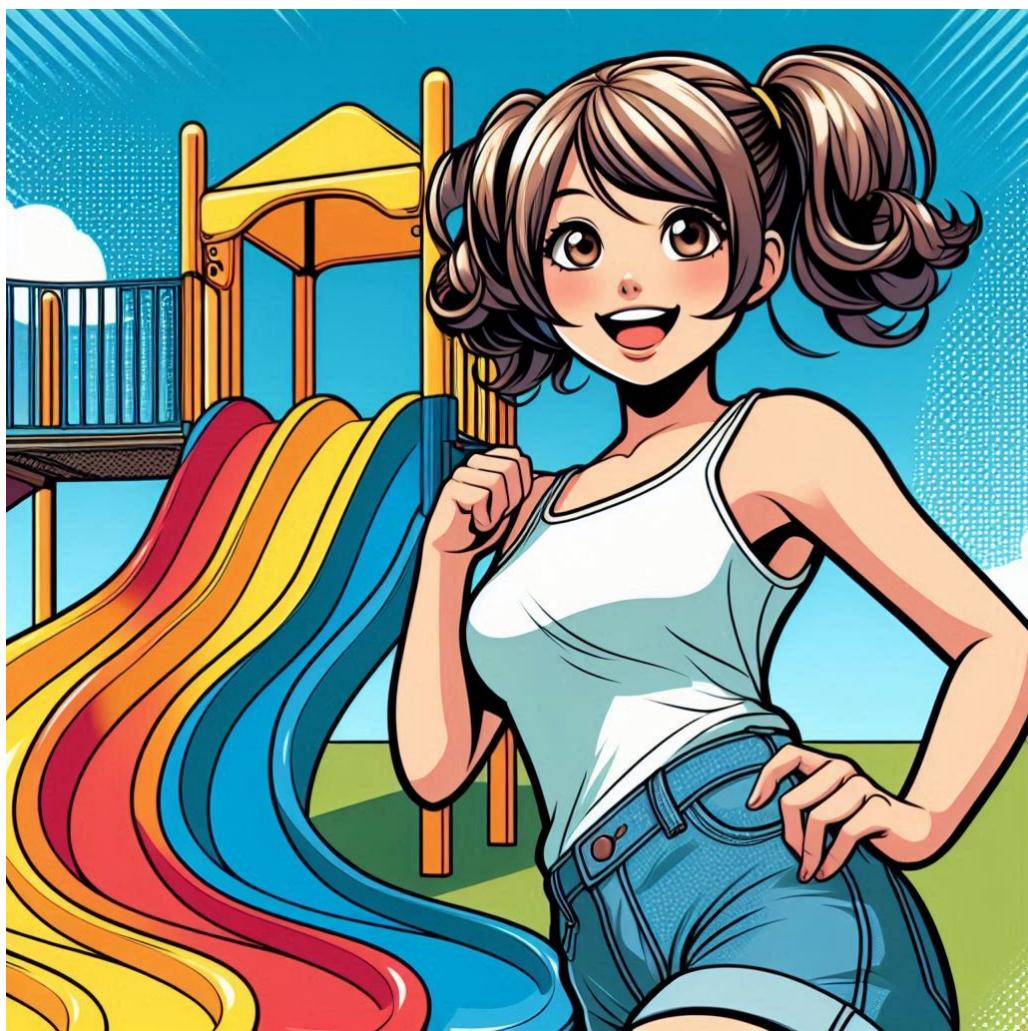
b1popsGf.png



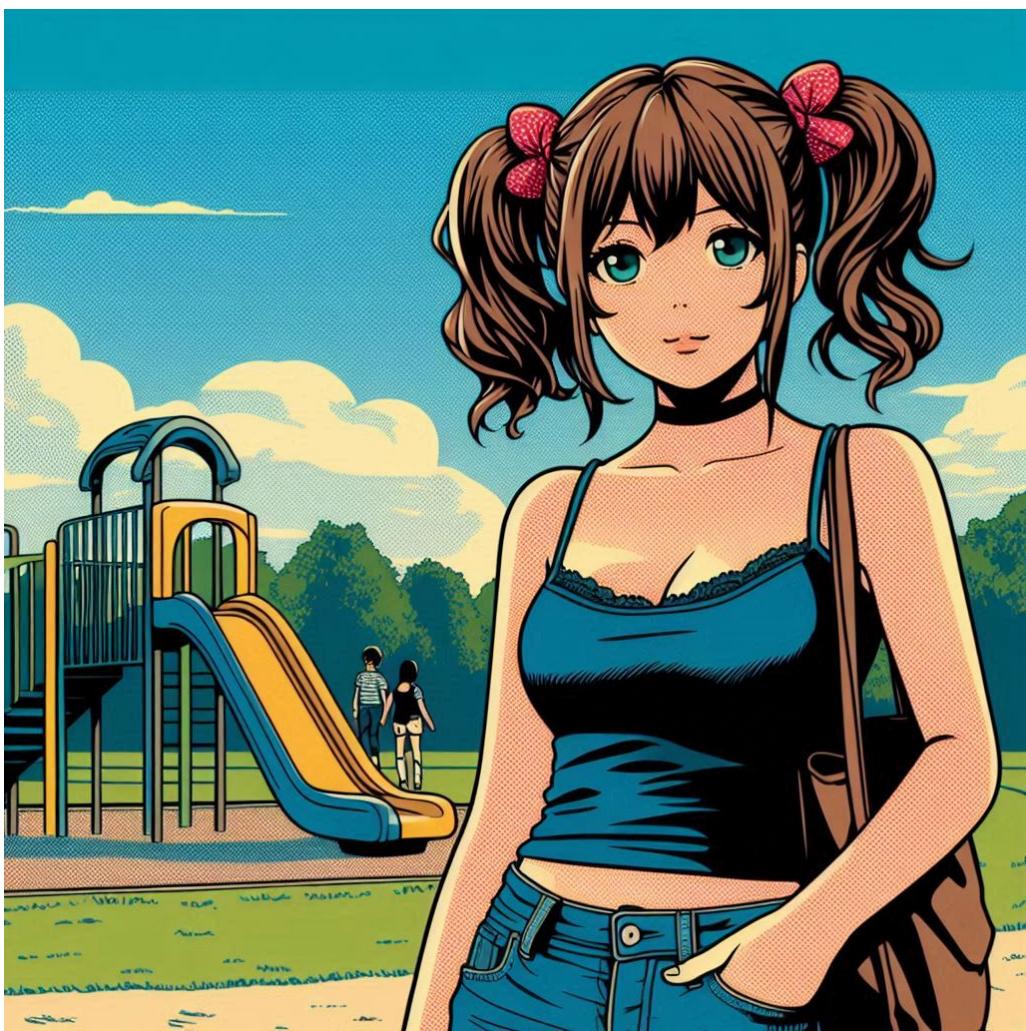
b1popsGg.png



b1popsGw.jpeg



b1popsMd.jpg



b1popsMg.jpg



b1popsMm.jpg

「後書き」

中級A I 講座・画風開発006 《ポップアート風のイラスト》

著作者：茜町春彦

2004年より活動を始めたフリーランスのライター&イラストレーターです。独自のアイデア・考察を社会に提示することをミッションとし、平等で自由な世界の構築を目指して創作活動を行なっております

その他：

製品名等はメーカー等の登録商標等です

本書は著作権法により保護されています

2026年2月18日発行

中級A I 講座・画風開発006 《ポップアート風のイラスト》

著 者 茜町春彦

制 作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
